



◆ アレルギー支援ネットワーク 通 信 ◆



NO. 81

2013. 9. 1

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

みなさまこんにちは。

本日は、防災の日です。被害を最小限に食い止めるために最も大切なことは災害が発生したときに直ちに1人1人が落ち着いて適切な行動をとることです。

各地域で防災訓練が催されています。お住まいの近くの活動に参加し、防災に関する理解を深めるとともに、防災活動の一層の充実を図る機会にしましょう。

ホームページの「アレルギーっ子の災害対策」もご覧ください。

==== も く じ =====

- 1、「アレルギーのおはなし」第14回 あいち小児保健医療総合センター 佐々木溪円
- 2、「アルファ化米を食べてみよう！」キャンペーン
- 3、防災コラム 第12回(最終回) 松本洋美
- 4、「安否確認システム」にご登録いただいた皆さまへ
- 5、「アレ大修了生☆リレートーク」第9回
- 6、アレルギーの子を持つ親の会からのメッセージ、活動報告 第1回
- 7、アレルギーっ子のおいしいレシピ 安井実奈子
- 8、東日本大震災に対する支援活動のご案内
- 9、アレルギー対応旅行モニターツアー QOL トラベル
- 10、秋期アレルギー大学 開講のご案内
- 11、アナフィラキシー対応とエピペン講習会のご案内
- 12、アレルギーの子を持つ親の会から防災についてのご案内
- 13、9月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ
- 14、アレルギー教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内
- 15、メールマガジン会員募集中！無料です。
- 16、募金にご協力ください

=====

-
- 1、「アレルギーのおはなし」第14回
「蚊刺症」 あいち小児保健医療総合センター 佐々木溪円
-

みなさま、いかがお過ごしですか。夏から初秋は子どもたちをはじめとして私たちヒトが外で遊ぶ機会が増えるだけでなく、昆虫が活発に活動する時期にあたるため、虫刺症(虫刺され)が多くなる時期ですね。今回は最も頻度が多い蚊による蚊刺症をテーマにしました。

世界中に分布する蚊は全体で約 3200 種が知られており、日本国内では 100 種類を超える種が生息を確認されています。身近な存在としては、黒白の縞模様で知られるヒトスジシマカ(Aedes albopictus)、茶褐色のアカイエカ(Culex pipiens pallens)が思い当たるのではないのでしょうか。

蚊に刺されると赤く腫れますが、これは蚊の唾液腺物質に対するアレルギー反応によるもので、直後に膨疹や紅斑がみられ 1 時間前後で消失する即時型反応と、数時間後に再び紅斑、丘疹、水疱を生じ 24～48 時間でピークになる遅延型反応に分けられます。

初めてのお子さんをもつ保護者が「蚊に刺された腫れが大きくて消えない」と心配して受診されるケースがありますが、蚊にさされた時の反応は刺された経験の多さによって影響を受けることが知られています。初めて蚊に刺された乳児は無反応(stage I)ですが、刺された経験が少ない乳幼児では直後の即時型反応よりも翌日以降に強い遅延型反応を生じる場合が多くなります(stage II)。刺された場所の発赤、腫脹、硬結が広い範囲に及び、消退まで数日かかる場合がありますので、その間に掻き壊してブドウ球菌などの細菌感染を伴うことで伝染性膿痂疹(とびひ)を生じるケースもあります。子ども達が成長すると蚊に刺された経験が増えますので、遅延型反応と即時型反応の両方がみられるようになり(stage III)、青年期以降は年齢を重ねると遅延型反応が弱くなり即時型反応のみ(stage IV)、さらに無反応(stage V)になる傾向があります。

極めて稀なケース(国内の年間発生数は約 100 件前後と推定)では、刺された場所が赤く腫れ、大きな水疱から壊死、深い抜き打ち状潰瘍などを生じることがあります(皮膚の深くまで症状がみられ、黒いかさぶたが作られ、かさぶたが取れた後が潰瘍による穴になります)。同時に数日続く発熱やリンパ節腫脹もみられますが、このような一連の症状が蚊に刺されると必ず生じる場合は、EB ウイルスが関与している稀な病態の可能性もありますので、主治医にご相談ください。

蚊刺症を防ぐ方法は、蚊の多い朝夕の時間帯や植物の茂みを避けること、皮膚の露出部を最小限にすること、露出部には虫除け剤を用いることなどが挙げられます。また、子どもに虫除け剤を用いる場合は、ジエチルトルアミド(ディート)を含む製品には年齢にあわせた使用制限がありますので、使用前に製品の記載をご確認ください。

参考資料:

馬場直子 小児科診療 75;2105-2107 (2012)

河敬世 ウイルス 52;257-260 (2002)

厚生労働科学研究 難治性疾患克服研究事業「慢性活動性 EB ウイルス感染症の実態解明と診断法確立に関する研究」平成 21 年度総括・分担研究報告書

2、「アルファ化米を食べてみよう！」キャンペーン

災害用アルファ化米のご紹介

一般的にアルファ化米とは「米を炊飯または蒸煮によってアルファ化（糊化）させたのち、急速的な乾燥処理を行った乾燥米飯のことであり、熱湯や冷水を注入することで飯への復元が可能で乾燥米飯を指す。」とウィキペディアには記載されています。もう少し付け加えると、通常精米のデンプンはβデンプンと呼ばれ、そのまま食しても身体の中で消化にくいデンプンです。対してアルファ化米はαデンプンで構成されており、消化しやすい構造になっています。難しい話はここまでにして、皆様には簡単に調理出来て普通のご飯のように美味しいお米と覚えて頂けたらと思います。

実はアルファ化米の用途は色々あるのです。後述する災害時の非常食に使用するものから学校給食のご飯やお赤飯等にも使われています。学校給食では一度に大量にご飯を炊飯する必要があり、そんな場面ではアルファ化米の「簡単に調理できる」力が発揮されているのです。

さて、災害時の非常食としてのアルファ化米に注目すると、これは「簡単」・「短時間」・「美味しい」を最大限に活用したものといえます。さらにお米の水分を低くすることにより、5年間の賞味期限を実現することができました。震災等の大規模災害時にはインフラが整うまで十分な熱源が確保できません。そんな時に非常用のアルファ化米＝『安心米』があれば、水を注水線まで入れて60分（お湯なら15分程度!）待てば美味しいご飯に変身します。

また、災害時は食品を自由に選ぶことができません。アレルギーに苦しむ方々は災害時に食事することもままならず、更なる苦勞を強いられると聞きます。当社では災害弱者にも配慮した特定原材料等（アレルギー物質）不使用の安心米も3品（ひじきご飯・わかめご飯・きのこご飯）をご用意しております。食事は空腹感を満たすだけでなく、災害時のストレスを軽減する役割を果たすと言われていています。安心米を食べて少しでもストレスの軽減に役立てればと切に思います。

当社はアレルギー支援ネットワークの理念・活動に共感し、2006年より賛助会員に加盟させて頂きました。当社の商品・企業活動を通じて今後も積極的に協力させて頂きます。

実はここだけの話ですが、小さなお子さまでも食べやすく美味しいと思って頂ける商品の開発を進めております。賞味期限が5年ある為、検証もそれなりに時間もかかるのですが、皆様の喜んで頂ける商品が出来上がると信じております。是非ご期待ください！



わかめご飯



ひじきご飯



きのこご飯

9月は防災月間です。災害用伝言ダイヤル(171)サービスを体験した方も、まだ一度も体験していない方も、この機会にぜひ体験してみてください。

緊急事態が生じた時は、冷静さを失い日頃出来ることでも、混乱してしまい出来なくなることがあります。繰り返し体験することで、いざという時に利用できるようにしておきましょう。

災害に見舞われた時、携帯やスマートフォン同士のやり取りは、一時利用できなくなります。また電池切れで使えなくなることもあります。

しかし、大切な家族の安否確認はすぐにでもしたいと思うことでしょう。皆さんの安否確認もしたいと思う友人・知人もいらっしやいます。

自分は、災害用伝言ダイヤルサービスは、利用しないと思うかも知れませんが、通信手段が限られる中、災害用伝言ダイヤルサービスを利用して、必死に皆さんたちの安否を確認しようとする方々もおられます。その方々に対して、自分は今どういう状況なのか伝言メッセージに入れて頂きたいと思います。

実際の現場で使えるようにするためには、携帯やスマートフォンが見られない状況でも、連絡先の電話番号は、常に手帳などに控えておいてください。家族単位だけでなく、友人知人同士でも安否確認の方法を決めたり、災害伝言ダイヤルサービスの体験を繰り返しておきましょう。

災害用伝言ダイヤルサービスの体験日は、毎月1日と15日ですが、この日以外にも体験可能な日がありますので、下記アドレスから確認してください。

認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークでも、安否確認システム登録のご案内と防災セットの申し込み受付をしております。アレルギー患者さんで、まだシステムの登録と防災セットの申し込みをされていない方は、この機会に登録をして頂きたいと思います。

これまで、防災コラムを掲載させていただきましたが、今回をもちまして、一旦終了させていただきます。少しでも防災のお役に立つことができたらと思っています。

今後も、今まで通りアレルギー患者様の支援をさせて頂きたいと思っておりますので、患者会の定例会や勉強会へも参加させて頂ける機会がありましたら、その時に防災啓発も行っていきたいと思っております。

本当に長い間ありがとうございました。

災害用伝言ダイヤルサービス

<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/taiken/>

安否確認システム登録のご案内と防災セットの申し込み受付

<http://www.alle-net.com/bousai/bousai01-01/>

4、「安否確認システム」にご登録いただいた皆さまへ

このシステムは、アレルギー疾患をもつ患者家族の皆さまが、災害時・緊急時に私どもアレルギー支援ネットワークと連絡をとりあえることを目的としています。私どもは、その状況に応じて皆さまにお役に立てる支援情報を提供することを目指しています。現在このシステムには、東海地区を中心として全国から約 800 人のご登録をい

ただいています。

アレルギー支援ネットワークの主な活動エリアは愛知県を中心とした東海地区で、地域の患者会活動の支援や、「アレルギー大学」という研修講座の開催、HP やメールマガジンなどによる情報発信などを行っています。理事の多くはアレルギー専門医や関連分野の大学教授、関連企業の役員など専門職についている者となっています。

事務局は、愛知県名古屋市中村区大秋町 2-45-6 にあります。月曜日から金曜日の 9:00-18:00 までは、事務局スタッフが常駐しています。スタッフの約半数はアレルギー児を持つ母親、半数は栄養士です。防災対策につきましては、地域の防災ボランティア団体や自治体と連携して活動を進めています。

災害は何時どこで起きるかわかりません。私どもは、災害発生時に状況に応じてできる限りの情報提供ができるよう、平時より準備をすすめています。東海・東南海地震がおれば私どもも被災いたしますが、複数の地域にいるスタッフの誰かから可能な限り情報発信ができるよう、体制を整えているところです。

その第一歩として、災害時・緊急時にこのシステムを少しでもスムーズにご利用いただけるように、日頃から 3~4 か月に 1 回程度、メール配信をさせていただくことになりました。

さて、皆さまにおかれましては、最初にご登録をいただいたときから時間が経過している方もいらっしゃると思います。まずは、登録内容の確認をし、変更点がございましたら更新をお願いします。

【登録内容の更新方法】

「アレルギーっ子の防災ネットワーク」 <<http://alle-res.com/Contents/Menu.php>>
<http://alle-res.com/Contents/Menu.php>

のページの左側、「登録者ログイン（情報変更）」をクリック、お名前、メールアドレス、パスワードを入力してログイン、「情報の更新」をクリックし、登録内容の確認をしていただき変更があれば修正をお願いいたします。

「登録情報変更フォーム」で、名前・住所・性別など基本情報を確認、修正があれば修正後「更新」ボタンをクリック、「登録情報の変更確認」画面で内容確認をしたら、「変更」ボタンをクリックすると「登録情報変更フォーム」の 2 ページ目にいきます。ここで、アレルギー症状やかかりつけ医などの修正を行い「更新」ボタンをクリック。「登録情報の変更確認」画面で内容確認をしたら、「変更」ボタンをクリック。これで、登録情報の変更が完了します。

アレルギーが完治されたなどの理由で「退会」をご希望される場合は、情報選択画面で「退会」をクリックしていただければ「退会」手続きは完了です。

登録メールアドレスを忘れた場合は、

「アレルギーっ子の防災ネットワーク」 <<http://alle-res.com/Contents/Menu.php>>

<http://alle-res.com/Contents/Menu.php> の左側、

「パスワードを忘れた方はこちらから」をクリックして、再登録をお願いします。

【災害時の連絡】

地震など大きな災害が発生した場合は、被災地域の登録者に対して、アレルギー支援ネットワークより「安否確認メール」を送信いたします。安否情報や、支援が必要な内容がありましたら、そのメールに返信していただくことができます。本システム登録時にお届けしたシリコンバンドの番号をお知らせいただくと、より速やかに登録内容の確認をすることができます。

【日頃の備え】

アレルギー疾患をもつ患者家族の方におかれましては、日頃の備えが大切です。被災状況によりましては、自己の備えだけで1週間～10日を過ごすことになります。

アレルギー支援ネットワークHPの「災害にどう備えるか？」

<<http://www.alle-net.com/bousai/bousai03-01/>>

<http://www.alle-net.com/bousai/bousai03-01/>

のページを参考に、日頃から十分な備えをいたしましょう。

【お問い合わせ】

本システムに関するお問い合わせ、ログインできない場合などは、

<<mailto:origin@alle-sien.sakura.ne.jp>> origin@alle-sien.sakura.ne.jp までメールをください。

5、「アレ大修了生☆リレートーク」第9回

私は、乳幼児、保育園児など、就学前の子供に関わる色々な仕事をしています。その中で、食物アレルギーに対する相談が年々増えて来ています。色々な雑誌からの情報での知識では、やはり曖昧なことになるのでし

かりとした知識、最新な情報を学習したいと思い、アレルギー大学を受講しました。

アレルギー大学を受講して、専門的なこと、最新な情報を沢山得ることが出来ました。

日々、医療は進歩しています。やはり、最新で、確実な知識は必要だと感じました。

栄養相談などで、お母さん方との相談も、しっかりとしたことも、答えられるようになり、とても嬉しく思っております。相談される方々の中に、1年近く、時々電話で相談が続いた方もみえました。その子の成長を見ながら、月齢に合わせた食事指導を行い、2歳の今では食べられるものが増え、皮膚もきれいになり、お母さんの喜んでい姿も見ることができました。また、乳幼児のおやつ作りでも、アレルギー除去食のおやつを考え、提供するようにしました。ひやりはっと事例の学習をしてからは、誰にでも安心して食べて頂けることが大切と痛感したからです。

今後も最新の知識の習得をして、それを活かして、調理実習や栄養相談などに役立てて実践していきたいと考えております。

岐阜県 栄養士 K.N

6、アレルギーの子を持つ親の会からのメッセージ、活動報告 第1回

「豊川アレルギーっ子の会」

榊原 直美

私たち「豊川アレルギーっ子の会」は、発足して今年で6年になります。

月1回の定例会には、乳幼児のお母さんを中心に、小中学生のお母さんや他の市町村からも参加して下さる方もいます。

会の内容としましては、特にテーマを決めず、それぞれの方が悩んでいる事や知りたい事などを中心に話していただき、情報交換しています。不定期ですが、支援ネットワークの中西さんをお招きしてアドバイスをさせていただく事もあります。定例会を通して感じることは、初めて来た時は不安そうでも、新しい知識を得たり、今後の見通しが立つと晴れ晴れした表情で帰られる方が多いということです。また、会員さん同士の交流が出来て、少しでも「つながり」を感じてもらえるといいな、と思います。

この「つながり」を会員さんの間だけでとどめずに、行政や他の患者会とのつながりも密にしていきたいと思っています。幸い、豊川市はアレルギー対応に対して前向きな姿勢を示して下さっているので、心強く感じています。また、今年に入ってから、お隣の市の「豊橋アレルギーっ子の会」さんとも交流させていただき、今後も共同で勉強会などを企画出来るといいね、という話も出ています。

これからも、肩の力を抜いて気軽に参加していただき、少しでも笑顔で帰ってもらえるような会を続けていけたらと、思っています。

「みちの会」

牧野恵美子

はじめまして。

みちの会の会長をしています 牧野と申します。

みちの会は、地域の患者会とはちょっと違って、みちはたこどもクリニックに受診されている患者さん、ご家族の方の患者会です。

アレルギーの保護者には季節ごとに悩みがいろいろあると思います。

定例会では、梅雨時はあせもカビ対策、夏は汗の痒み対策、冬は乾燥対策や暖房器具について、また入園願書の時期になれば入園・入学のこと、災害対策、年末年始の帰省や旅行のことなど、会員さんの要望を聞きながらテーマを決めて、テーマに沿わずにということも多々ありますが、アットホームな感じで困っていることをみんな楽しく話しています。

また、クリスマス会は人形劇をみて、みんなが食べられるケーキを食べたり、他にも薬剤師さんを招いて勉強会をしたり、アロマの先生を招いて虫刺され痒み対策クリーム等作ったりということもしています。

私自身、今は9歳になった娘が、生後10か月で食物アレルギーと分かってから、当時住んでいた近くにはアレルギー専門医がみえなくて、病院をたくさんめぐり、アレルギーの情報を得るために必死でした。そんな時にようやく出会えたのが、みちの会でした。

毎回みなさんのお話をメモって目からうろこ、本の紹介やレシピを教えてもらったり、掃除の仕方、ハウスダスト・ダニ対策を教えてもらって、アレルギーと付き合っていくことを前向きに捉えることを出来ました。3つ違いの弟は、赤ちゃんの時アトピー性皮膚炎がひどくて、気持ち的にも出かけることが苦痛でしたが、月に1回のみちの会だけは行くのが楽しみでした。

自分がお世話になった会なので、ずーっと繋いでいけたらと思っています。私は知識等まだまだなので、先生や病院のスタッフさんや役員の方や会員さんみなさんのサポートで助けられていて、みなさんが知っていることを共有できる場所 会員さんが困っていることも話していい方向に向かえるようになれば お子さん、家族の方が心地よくなれる会になればと思っています。

7、アレルギーっ子のおいしいレシピ

「雑穀とお豆のモンブラン」

安井実奈子

意外な組合せでお洒落なデザートのできあがり！体に優しいものばかりからできて
てるのも嬉しいですよ。栗にさつまいもに、かぼちゃと、これから美味しくなる
時期ですから、ぜひ試したいですね。

レシピはこちらから

8、東日本大震災に対する支援活動のご報告

常務理事 中西里映子

岩手県・陸前高田市で「アレルギー勉強会」

大船渡市と陸前高田市で、それぞれ月に一度ずつ「ママサロン」を開催し、子育て支援をしている団体「NPO 法人 こそだてシップ」があります。
<http://kosodateship.org/>

「こそだてシップ」さんからご依頼があり、
10/15(火)に陸前高田市で開催されるサロンの中で、「アレルギーの勉強会」の講師を、中西が担当することになりました。
会場は、陸前高田市・米崎コミュニティセンター で、10時～です。

陸前高田市の子育て中のお母さんで、アレルギーが心配だったり、アレルギーに悩んだりする気持ちを、少しでも和らげてさしあげることができれば・・・
と、私自身も皆さんにお会いできることを楽しみに伺う予定でいます。

=====

9、“沖縄の離島”を、家族で満喫するチャンス！

アレルギー対応旅行モニターツアー『10/5-7 沖縄の離島 久米島を楽しむ』！
旅行募集、近日開始！！ QOLトラベル

=====

『QOLトラベル』がご案内する、沖縄県の支援と補助が付くモニターツアーです。
旅行日程は10月5日(土)～7日(月)の2泊3日、
旅行先はアレルギー対応先駆の地「久米島(沖縄)」。
名古屋と関西の発着で、合計で先着20名様(3歳未満を除く人数)募集。

- ・ 各種お問合せ、大歓迎！
- ・ お問合せ頂いた方々には、募集開始情報をいち早くお伝えします。

お申込・お問合せ E-mail: guide@qoltravel.com

フェイスブックで各種情報掲載中: <https://www.facebook.com/qoltravel>

詳しくは: http://www.fcrest.co.jp/travel/pdf/1005okinawa_senkou.pdf

■ 久米島は、かつて「久美の島」と呼ばれた美しい島。
離島ならではの、透明な海・白いビーチ・東洋一の砂州「ハテの浜」をのんびり満喫。

■ アレルギー対応付き

①専任の事前相談員:

事前に、アレルギー対応に関するご質問に、正確で誇張のない情報をお伝えします。

②朝・昼・夕全て、10品目完全除去の食事

- ③レストランホールでの誤配の防止
- ④宿泊環境(清掃、寝具、アメニティ)の整備
- ⑤旅行中の緊急時への備え: 医療機関・救急隊と連携しています。

■ 公的支援が付いて、名古屋発着の旅行代金は、移動・宿泊・全ての食事”込み”で

※ お一人様 約 80,000 円 (3歳未満無料)

お申込・お問合せは QOLトラベル栩野(とちの)まで E-mail: guide@qoltravel.com

10、秋期アレルギー大学 開講のご案内

9月8日より秋期アレルギー大学が開講します。

本年度は大変ご好評を頂き、秋のアレルギー大学開講が決定しました。

秋期アレルギー大学は、基礎・初級を愛知会場で開講致します。

「アレルギー大学」では調理師、栄養士、保育士、養護教諭など専門職の方はもちろん、企業のアレルギー対応、患者家族の知識向上などすべてにおいて、アレルギーのプロがお応えする、現場で即戦力となる講座です。

現在開講中の講座で日程が合わなかった方や欠席された方・定員が超えて申し込みができなかった方もぜひ受講をご検討下さい。

皆さま、お誘い合わせのうえご受講いただきますよう、ご案内申し上げます。

皆さまのお申込お待ちしております。

<http://alle-sien.net/alle-dai/html/>

11、アナフィラキシー対応とエピペン講習会のご案内

6月から始まり、8月までで7回の講習会を開催いたしました。

当初は5日間の予定でしたが、お申し込みが殺到し、すぐに定員の100名に達しましたので追加の日程を設定いたしました。

現在、お申し込み可能な日が、10月26日(土)、1月30日(木)、2月8日(土)となっております。

保育園、学校関係者、救急救命士の方はもちろん、エピペンを所持されているお子さんの保護者の方まで多くの方にご参加いただきました。

皆さま、お誘い合わせのうえご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

皆さまのお申し込みお待ちしております。

また、学校・園・地域・団体単位での講習会のお申し込みも受け付けております。

12、アレルギーの子を持つ親の会から防災についてのご案内

9月13日 春日井の会

25年度は、防災について力を入れています。

9月13日は防災士の松本洋美さんを講師にお招きし、

「みんなで考えよう！アレルギーっ子の防災」をテーマにお話します。

12月にも予定しております。

皆さまのご参加をお待ちしております。

9月14日 ぶちヴェールの会

誰にとっても怖い大震災。アレルギーっ子達の家庭では、さらなる非常事態となります。

先の東日本大震災では、被害が甚大なため、救援の遅れが多く見られました。

また、幸いにして救援があっても、アレルギーのため食べられる物がなかったり、いつもと違う環境の中でアトピーや喘息などのアレルギー症状が悪化したり、一般の防災の知識とは別の心構えや準備が必要になります。

ママ達の心配や不安を解決していくために、そして震災があってもアレルギーっ子達が負けないように、アレルギー支援ネットワークからアドバイザーを招いて、震災から命を守り、生き抜くための知恵や備えを、みんなで学んでいきたいと思えます。

9月24日 緑アレルギーの会

前半は通常のアレルギーに対する交流会を行い、後半に参加者同士で防災に関する意見交換を行う予定です。

皆さんがどの程度の備えをしていて、何を不安に感じているのか、

まず今回は、意見を出し合い、防災に対する意識を高めたいです。

それらの意見を参考に、今後の防災講習会、勉強会を企画していけたらと考えています。

13、9月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息など、アレルギーのお子さんの事、アレルギーかな？と、お悩みのある方、スキンケアや食事の事、

園や学校についてなど、私たちと一緒に話をしませんか？

さて、今日は、防災の日です。

皆さんは、ご自分の住んでいる地域の避難場所・備蓄についてご存知ですか？
各地で防災訓練が開催されると思いますので、是非、ご自分の地域の防災訓練へ参加をしてみてください。

どのような備えが必要なのか、避難場所の確認、アレルギーがある場合には、どのような準備が必要なのかを考えてみる良い機会になると思います。

また、必ずしも親子が一緒にいる時に、災害が起こるとは言えません。お子様と離れている時に、災害が起こったら！？

お子様の身の安全を確保するには、どうしたらよいでしょうか。

一緒に考えてみませんか？

参加希望の方はご連絡を下さい。お待ちしております。

どこの交流会へも参加可能です。

【9月の開催】

- | | | |
|--------|-----------------------|------------------------|
| 4日(水) | 西尾アレルギーの会 アレッ子元気 | 西尾市総合福祉センター4階 洗心庵 |
| 5日(木) | 守山アレルギーの会 | 守山区社会福祉協議会 研修室 |
| 5日(木) | 天白アレルギーの会 | 天白区在宅サービスセンター ボランティア 室 |
| 6日(金) | あま市アレルギーの会 | 美和公民館 和室1 |
| 13日(金) | アレルギー支援ネットワーク | アレルギー支援ネットワーク 事務所 |
| 13日(金) | 春日井アレルギーの会 | レディヤン春日井 |
| 14日(土) | ぷちヴェール(日進・長久手アレルギーの会) | 北部福社会館 食事室&和室 |
| 19日(木) | 豊橋アレルギーっ子の会 | 豊橋会館「さくらピア」児童保育室 |
| 19日(木) | 名東アレルギーの会 | 名東区在宅サービスセンター 研修室2 |
| 21日(土) | 刈谷アレルギー児の親の会 | 刈谷市民ボランティア活動センター |
| 24日(火) | 緑アレルギーの会 | 片平ふれあいセンター 和室 |

【休み】 名古屋南部アレルギーの会

【対象】0歳～中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加 費用】各交流会に確認して下さい。

お申込は電話 052-485-5208 URL<http://www.alle-net.com/>

<mhtml:%7B391507A9-FDA5-4B61-A241-76B1EBC37C8A%7Dmid://00000148/%21x-usc:<http://www.alle-net.com/>>

皆さまのご参加をお待ちしております。

14、アレルギー教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内

皆さまは、既にお持ちですか。

アレルギーに関わる皆様のバイブルとなる「食物アレルギーの基礎と対応」。

本書は、宇理須先生監修の下、アレルギー専門の医師やアレルギー対応給食の現場で活躍されていた先生等専門の方々執筆・編集協力をしていただいております。

アレルギーに携わる仕事をされている方、アレルギーのご家族がいらっしゃる方、アレルギーに関わる皆様はもちろん、アレルギーについて勉強がしたい、興味があるという皆様にもぜひ、お手元へ置いていただきたい一冊です。

15、メールマガジン会員募集中！無料です。

アレルギー最新情報や地域の会の情報など、「アレルギー」に関する情報満載の「アレルギー支援ネットワーク・メールマガジン」。ただいまご購読会員募集中。ご購読は無料です。みなさんの周りの方にも、ぜひご登録をおすすめください。また「こんなことを取り上げてほしい」「知りたい情報がある」などメールマガジンで取り上げる記事についてのご要望もお待ちしております。

あなたの声で、アレルギー対策が一步前進するかもしれません！ info@alle-net.com までお気軽にどうぞ。

16、募金にご協力ください

※認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークは寄付金控除対象団体です※

「GiveOne 寄付サイト」 <http://www.giveone.net/cp/Pg/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10108>

『東海地域にアレルギーを持つ親子を地域で支えるサロンを』プロジェクト
～アレルギーを持つ親の不安な気持ちを支え、子供たちの笑顔を守ろう！！～
(※GiveOne の寄付サイトでは引き続き掲載をさせていただいております。)

<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10290>

「東海ろうきん NPO 寄付システム」<http://tokai.rokin.or.jp/npo/index.html> を通じて寄付をお願いしております。寄付の方法や支援していただく事業などは、各リンク先をご確認ください。また直接の寄付および領収書発行等につきましては、下記事務所までお問い合わせください。

=====

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは asn-mailmagazine@alle-net.com (メルマガ編集部) までお願いします。また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。(メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。)

★メルマガの転載について
無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、メルマガ編集部 asn-mailmagazine@alle-net.com までお尋ねください。なおメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

☆ ★☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに関することなんでも OK です。
ぜひお気軽にどうぞ☆☆☆

★みなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

発行/編集 認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0042 名古屋市中村区大秋町 2-45-6 (3月5日に事務所はこの住所に移転致しました)

▽TEL : 052-485-5208 ▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----